



2025年3月12日

各位

会社名 モ イ 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 赤松 洋介
(コード番号：5031 東証グロース)
問合せ先 取締役経営管理本部長 入山 高光
(TEL：03-3527-1471)

特別損失及び繰延税金資産の計上、並びに通期業績予想と実績値との差異 及び前期実績値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2025年1月期において、下記のとおり、特別損失及び繰延税金資産を計上しましたので、お知らせいたします。また、2024年9月11日に公表しております業績予想と前期実績値について、それぞれ本日公表の2025年1月期実績値との間に差異が発生しましたので、併せてお知らせいたします。

1. 特別損失の計上

音楽著作権管理団体（以下、管理団体）の当社に対する監査手続の過程で、当社サービス「ツイキャス」での楽曲利用に伴う収入報告の内容において、報告対象となる収入範囲に係る管理団体と当社間における認識の齟齬が顕在化したしました。

当社といたしましては、本事案の適切な解決に向けて交渉をしており、それに関連し発生する費用160百万円を特別損失に計上いたしました。

なお、管理団体と当社の協議は、当資料発表時点で進行中であり、本事案に関して、今後開示すべき事項が発生した場合には、速やかに開示いたします。

2. 繰延税金資産の計上

当社は、2025年1月期及び今後の業績動向を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、2025年1月期において、繰延税金資産115百万円を計上するとともに、法人税等調整額△6百万円（△は利益）を計上いたしました。

3. 業績予想と実績値との差異

前回発表業績予想と2025年1月期実績値との差異については、下記のとおりです。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 6,536	百万円 165	百万円 187	百万円 —	円 銭 —
実績値（B）	6,592	232	256	27	1.99
増減額（B－A）	56	67	69	27	—
増減率（％）	0.87	40.8	37.0	—	—

(差異の理由)

売上高につきましては、各種マーケティング施策の効果等により、ポイント販売売上(前回予想比0.3%増)、プレミアム配信売上(前回予想比7.1%増)、メンバーシップ売上(前回予想比3.8%増)の全てが前回発表した業績予想を上回り、6,592百万円(前回予想比0.9%増)となりました。

売上高に連動して売上総利益が3,362百万円(前回予想比1.6%増)と前回予想を上回り、販売費及び一般管理費につきましては、主にメンバーシップの規模拡大に伴うアプリ決済数の増加の影響で手数料費用が増加(前回予想比2.6%増)したものの、各プロモーション施策の費用対効果向上によるマーケティング費用の圧縮(前回予想比27.8%減)と採用計画の再調整による体制強化費用の減少(前回予想比2.8%減)の影響により、3,129百万円(前回予想比0.5%減)と前回予想を下回りました。

以上により、営業利益につきましては、232百万円(前回予想比40.8%増)となりました。また、営業利益の増加に伴い、経常利益につきましては、256百万円(前回予想比37.0%増)となりました。

当期純利益及び1株当たり当期純利益につきましては、前回の業績予想発表時点で予想数値の算定が困難であることから、未定としておりましたが、前期実績値と2025年1月期実績値に差異が生じました。詳細につきましては、「4. 前期実績値と実績値との差異」を参照ください。

4. 前期実績値と実績値との差異

前期実績値と2025年1月期実績値との差異については、下記のとおりです。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A) (2024年1月期)	百万円 6,433	百万円 142	百万円 156	百万円 194	円銭 13.90
実績値(B) (2025年1月期)	6,592	232	256	27	1.99
増減額(B-A)	159	89	99	△166	—
増減率(%)	2.5	63.0	63.5	△85.7	—

(差異の理由)

2024年9月11日に公表いたしました2025年1月期の業績予想の当期純利益及び1株当たり当期純利益につきましては、営業利益及び経常利益が2024年3月13日公表の計画を上回る見込みとなったこと及び今後の見通しを踏まえた繰延税金資産の回収可能性の検討に時間を要するため、予想数値の算定が困難であることから未定としておりましたが、上記「1. 特別損失の計上」、「2. 繰延税金資産の計上」に記載のとおり、特別損失及び法人税等調整額を計上することにより、当期純利益及び1株当たり当期純利益につきましては、前期実績値と2025年1月期実績値に差異が生じました。

以上